

単発、短時間、短期間で働くスポットワークの求人倍率は2.78倍
求人数が前月比+60.0%、前年同月比+37.3%と大幅に伸長
-スポットワークマーケットデータレポート（2023年10月度版）-

多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所(<https://tsuna-ken.com/> 拠点：東京都千代田区/所長：平賀充記)は、ここ数年で広がりを見せる「単発、短時間、短期間で働くスポットワーカーの市場」について定点観測する「スポットワークマーケットデータレポート」を毎月発表しています。

本レポートでは、2023年10月度最新データについて、とりまとめましたのでご報告いたします。

※レポート詳細はこちら：https://tsuna-ken.com/research_report/202310_spotwork-10/

トピックス

1. スポットワークの求人倍率は2.78倍。前年同月より0.72ポイント上昇
2. 新規ワーク数は、前年同月比+24.7%。主要職種では倉庫内・軽作業が+27.3%と伸長
3. スポットワーカーの平均時給は1,193円。前月差+37円、前年同月差+48円

■ 1. スポットワークの求人倍率は2.78倍。前年同月より0.72ポイント上昇

2023年10月度のスポットワーク求人倍率は2.78倍。求人数が前月比+60.0%、前年同月比+37.3%と大幅に伸長したことにより、スポットワーク求人倍率は前月差+0.95ポイント、前年同月差+0.72ポイントと著しく上昇しました。

スポットワーク求人倍率の推移



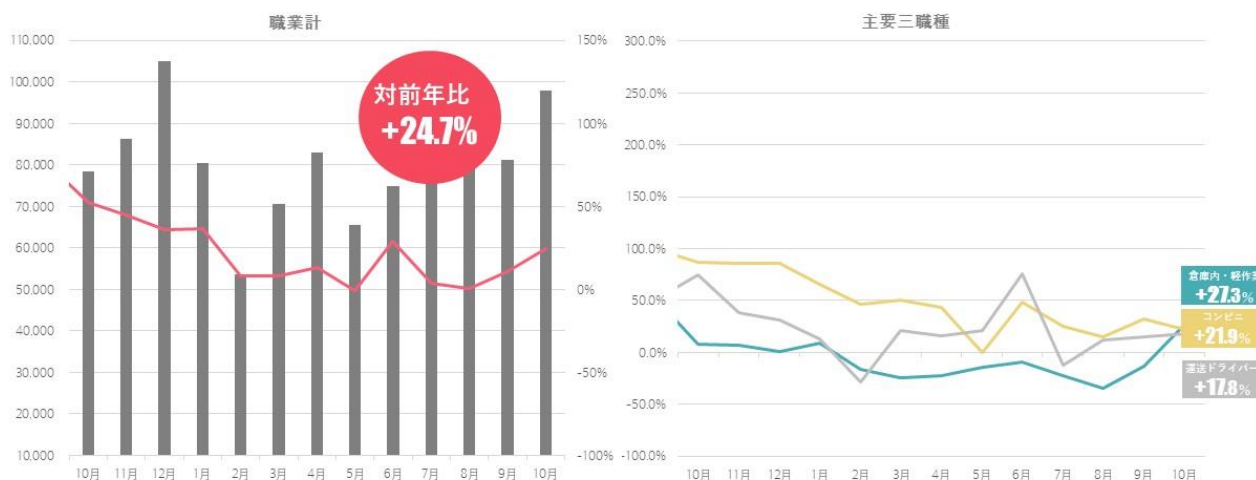
出典) 単発バイト求人サイト「ショットワークス」2019年10月～2023年10月データを加工
 ■ 求人数：ショットワークスにおける当月のワーク出稿数 ■ 求職者数：当月登録UU数+前月以前登録者の応募UU数

■ 2. 新規ワーク数は、前年同月比+24.7%。主要職種では倉庫内・軽作業が+27.3%と伸長

景気の先行景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は 97,967 件。6 月から 5 か月連続で前年同月比プラスを維持しています。主要職種では倉庫内・軽作業が前年同月比+27.3%と最も伸びが高くなっています。

職種別新規ワーク数伸び率推移

ツナグ
働き方
研究所



出典) 単発/バイト求人サイト「ショットワークス」2022年10月～2023年10月データを加工

© 2023 TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.

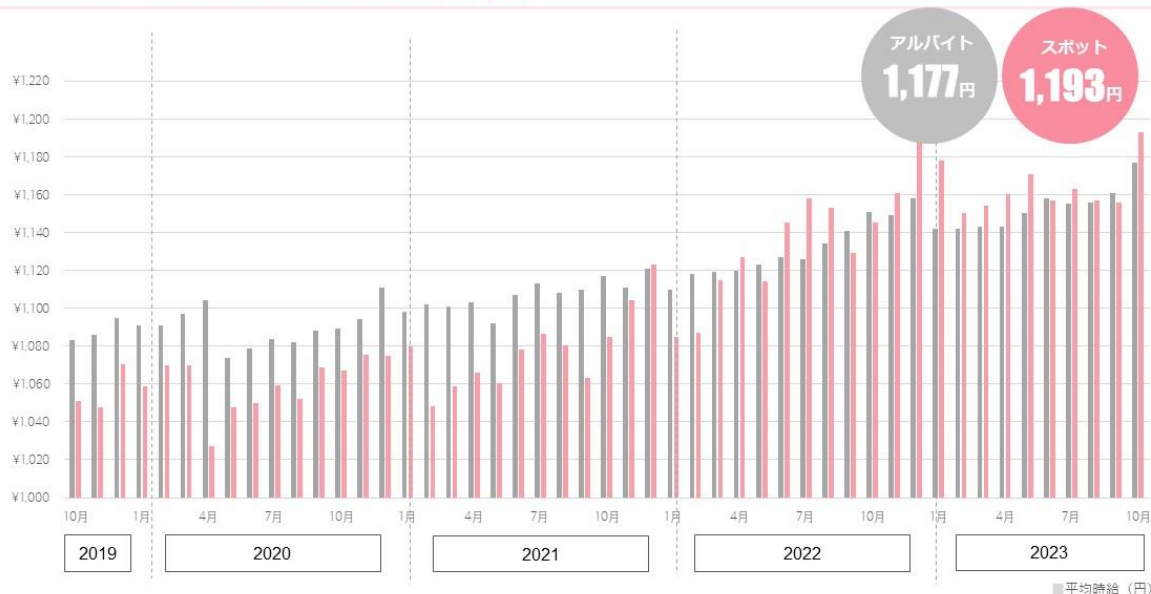
■ 3. スポットワーカーの平均時給は 1,193 円。前月差+37 円、前年同月差+48 円

2023 年 10 月度のスポットワーク平均時給（首都圏・関西圏・東海圏の 3 大都市圏）は 1,193 円。前月差+37 円、前年同月差+48 円となりました。通常のアルバイト平均時給 1,177 円（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）との比較では 16 円高い結果となりました。

主要 3 職種では、特に倉庫内・軽作業ではスポット 1,230 円、アルバイト 1,197 円と、スポットワークの時給が 33 円高くなっています。

スポットワーク・アルバイト賃金の格差比較

ツナグ
働き方
研究所



出典) 単発/バイト求人サイト「ショットワークス」三大都市圏平均時給2019年10月～2023年10月データ
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」2019年10月～2023年10月を加工

© 2023 TSUNAGU GROUP HOLDINGS Inc.

出典)

単発バイト求人サイト「ショットワークス」2019年10月～2023年10月データ
総務省統計局「労働力調査(詳細集計)2023年(令和5年)7～9月期平均」
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」

■スポットワークマーケットデータレポートとは

・スポットワークマーケットの定義

スポットワークとは、単発、短時間、短期間で働き「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の2種類に分類されます(ギグワークの代表例として、ウーバーイーツ配達員が挙げられます)。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

・マーケットの現状

スポットワーカーは、コロナ禍を契機に急増、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。
個人) 働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少で、追加就労意欲が増大
企業) 生産性向上観点から、ムダやムラのない=必要な時に必要な人数を配置する人件費最適化の高まり
技術) タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者の参入

・定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018年からILO基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加してスポットで働くことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的に捉えると、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした社会的意義と接続する観点から、本マーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化するデータレポートを発信していきます。

■ツナグ働き方研究所とは...

株式会社ツナググループ・ホールディングスを母体とする「多様な働き方」の調査研究機関。所長である平賀充記(ひらがあつのり)は、リクルートにて、FromA、タウンワーク、とらばーゆ、ガテン、はたらいくなど、主要求人メディア編集長を歴任、メディアプロデュース統括部門執行役員を経て、人と組織の研究者に転身。特に30年以上にわたり観察を続けてきた「職場の若者」について造詣が深い。昨今では、組織コミュニケーション研究の観点から「ポストコロナ時代のリモートワーク」について精力的な研究に従事。近著に「パート・アルバイトの応募が殺到！神採用メソッド」(かんき出版)「なぜ最近の若者は突然辞めるのか」(アスコム)。最新刊「イライラ・モヤモヤする今どきの若手社員のトリセツ」(PHPビジネス新書)を上梓。

<https://tsuna-ken.com/>

■過去の調査、リリース(一部)は以下に公開しております。

【2023年アルバイト採用ブランド力調査】

コロナ禍3年、アルバイト最強ブランドは1位ダイソー！2位セリア！

https://tsuna-ken.com/research_report/baito_2023ranking/

バイト探しの情報源はネット化加速！学生では登録型サービス利用が増加！

2023年アルバイト探しに利用した情報源調査(2019-2023比較版)

https://tsuna-ken.com/research_report/arbeit_medium2023/

【アフターコロナの多様な働き方調査】5類移行後の働き方調査

社回帰の傾向が見られる中、働き手はちょこっとテレワークを希望

https://tsuna-ken.com/research_report/telework_5/

【本件に関するお問い合わせ先】

ツナグ働き方研究所(株式会社ツナググループ・ホールディングス)

担当:和田(わだ) tsuna-ken@tsunagu.co.jp

■会社概要

社名：株式会社ツナググループ・ホールディングス

住所：〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-2-1 X-PRESS 有楽町 3 階

代表者：代表取締役社長 米田 光宏

資本金：700,576 千円

従業員数：690 名/グループ合計（2023 年 9 月 30 日現在）

URL：<https://tghd.co.jp>

【取材・報道関連に関するお問合せ先】

株式会社ツナググループ・ホールディングス

広報担当 Mail：tghd-info@tsunagu-grp.jp